

情報通信審議会 情報通信技術分科会

IPネットワーク設備委員会 技術検討作業班（第11回）議事録抄（案）

1 日時

平成19年4月26日（木）10時00分～11時15分

2 場所

総務省11階 共用1101会議室

3 出席者（敬称略）

(1) 構成員

相田仁（主任）、粟野友文、伊田吉宏、入部真一、江崎浩、
榎本洋一（オブザーバー：吉井裕重）、笠井康伸（オブザーバー：高木陽次）、
加藤義文、木原賢一、木村孝（オブザーバー：河内勝士）、齋藤保夫、谷直樹、
千村保文、中道正仁、中野尚、名部正彦（オブザーバー：平松耕太郎）、
成宮憲一（オブザーバー：中西廉）、松本隆、松本檀、三膳孝通、森川誠一
（以上21名）

(2) 事務局（総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課）

渡辺課長、荻原課長補佐、中村課長補佐、大西課長補佐 他

4 議事

(1) 前回議事録抄（案）の確認について

資料作11-1に基づき、技術検討作業班（第10回）の議事録抄（案）について、
意見等がある場合には事務局へ連絡をしていただくよう説明があった。

(2) 課題と論点について

資料作11-2に基づき、課題と論点について事務局より説明があり、その後意見
交換が行われ、ITU-T等の動向を踏まえ、当面は特に「IP電話」、「コンテンツ
配信サービス」、「固定・移動シームレスサービス」、「端末・ネットワークの接続」に
関する課題の検討を進めていくこととされた。

【意見交換の概要】

千村：次世代IPネットワーク推進フォーラムのIP電話SWGで検討しているが、作業
班であげられた課題は、どう扱っていったらよいか。

相田：作業班とフォーラムは独立だとは思いますが、作業班であがった課題についてはできる

だけ考慮していただきたいと思う。検討においては、優先度を付ける等の進め方もある。

加藤：端末固有の物理番号とIP電話等のサービスにおける論理番号の扱いについて、NGNになった際にどうなるのか。

相田：電話番号については、（情報通信審議会の）電気通信番号委員会で検討が進められているところである。

また、テレビ電話について、NGNでの電気通信番号をどう考えるのかというのも検討を進めていかなければならないかもしれない。

事務局：NGNにおける電気通信番号の扱いについては状況に応じて検討を進めることになるかと思う。

齋藤：端末設備等規則についての検討は別の場でされているとのことだが、具体的にどのような場で検討されているのか。

相田：IP化時代の通信端末に関する研究会において、IP化時代における端末とネットワークの責任分担の在り方等について検討が進められているところである。

(3) 次世代IPネットワーク推進フォーラムについて

資料作11-3に基づき、次世代IPネットワーク推進フォーラムについて、フォーラムの技術基準検討WGリーダーである粟野構成員より説明があり、その後意見交換が行われ、今後とも連携していくことが確認された。

【意見交換の概要】

相田：研究開発・標準化部会にホームネットワークWGがあるが、端末・網SWGとの関係はどうか。

粟野：両方のグループに参加しているメンバーがいるので、連携して検討を進めていきたいと思っているが、必要があればリエゾン等も考えている。

江崎：ホームネットワークにおいて自由度というのは大変重要なファクターであると思うが、エンド・トゥ・エンドの品質を確保するがためにイノベーションを犠牲にすることのないようにしてもらいたい。

粟野：ホームネットワークについては、ITUでも議論されており、それを踏まえて検討していくこととしたい。

(4) その他

資料作11-4に基づき、今後のスケジュールについて事務局より説明があり、次回は5月下旬で調整する旨、連絡があった。

<配付資料>

【資料番号】	【配付資料】
資料作 11-1	IP ネットワーク設備委員会 技術検討作業班(第 10 回)議事録抄(案)
資料作 11-2	課題と論点について
資料作 11-3	次世代 IP ネットワーク推進フォーラムについて
資料作 11-4	今後のスケジュール(案)
参考資料 11-1	IP ネットワーク設備委員会技術検討作業班 構成員名簿(平成 19 年 4 月 26 日現在)